



2019(令和元)年8月9日
京都鉄道博物館

9月のワークショップ♪ 展示品解説セミナー「腕木式信号機」開催！！

この秋は鉄道の運行を支える「信号機」に注目！

展示品解説セミナー「腕木式信号機」

9月のワークショップでは、鉄道信号機の歴史や、腕木式信号機の種類と仕組みをご紹介します！
腕木式信号機は、運転士に「進め（進んでも良い）」や「止まれ」を指示する信号機のひとつです。日本では鉄道開業時から使用されており、その名のとおり柱に取り付けた「腕木」の角度によって指示を伝えていました。現在ではほぼ使用されなくなった腕木式信号機の実演を交えて解説を行います！ぜひご参加ください♪

開催日 9月7日(土)・8日(日)
開催時間 ①【受付】11:00～ 【開催】11:30～
②【受付】13:15～ 【開催】13:45～
③【受付】15:00～ 【開催】15:30～
※所要時間 40分

会場 本館1階 1800形蒸気機関車1801号機前
参加方法 各回【受付】時間より会場にて整理券を配布
対象年齢 制限なし
参加費 無料(要入館料)
定員 各回先着20名



腕木式信号機のひみつを
調べに行こう！



普段は見学できない車両を公開！

9月の特別な車両公開「クハネ 581 形 35 号車」

当館では週末を中心に、月替わりで展示車両の車内を公開しています。

9月の車両は「クハネ 581 形 35 号車」です。1967(昭和 42)年に登場した特急形交直流電車である 581 系は、世界初の昼夜両用車です。公開する 35 号車は 1968(昭和 43)年に製造され、「月光」や「みどり」などをはじめとする特急列車として活躍した後、最後の定期急行列車「きたぐに」として 2013(平成 25)年まで運用されました。昼は座席車、夜は寝台車になる車内も見所です。ぜひご覧ください！

公開日 9月の土曜日・日曜日・祝日

公開時間 10:00～16:30(12:00～13:30 は休止)

公開場所 本館 1 階

参加料 無料 ※要入館料



▲クハネ 581 形 35 号車

振ると光るスノードームを作ろう！

「ふるふるスノードーム」製作体験

電車の形のパーツや貝殻、色とりどりの砂などを自由に入れて、自分だけのスノードームを作る体験です♪
スノードームは製作終了後すぐにお持ち帰りいただけます。

開催日 8月13日(火)～18日(日)

受付時間 10:30～16:00

※18日(日)のみ15:00に受付終了

製作時間 20分～30分程度

会場 本館1階 車両工場エリア

参加料 【Aコース基本料金】2,160円(税込) 【Bコース基本料金】2,700円(税込)

※スノードームのガラスの形状や大きさによって値段が異なります。

※その他追加トッピング用パーツは54円(税込)～



↑新幹線のパーツを入れることもできます！
※写真はイメージです



↑スノードームを振ると LED ライトが青く光ります♪
※写真はイメージです